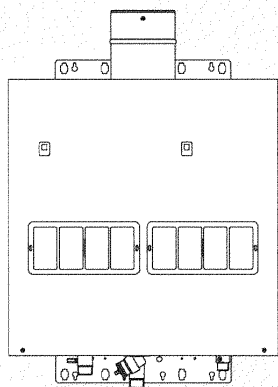


屋内設置形

ガス給湯器

633-1010 型

TP-WQ555GE



取扱説明書

 **大阪ガス**

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分に理解したうえで正しくお使いください。別添の保証書とともに、この「取扱説明書」をいつでもご覧になれる身近なところへ大切に保管してください。なお、ご不明な点があればお買い上げの販売店にお問い合わせください。

大阪ガス株式会社

お問い合わせ先
別添 大阪ガスのお問い合わせ先
をご参照いたします。

お願い ガスくさいときは、ガス栓を閉じ窓を全開にして、(火気に注意して)
大阪ガスに連絡してください。

QM6011

安全に正しくお使いいただくために

■この取扱説明書の表示について■

この取扱説明書では、機器を正しくお使いいただき万一の事故を未然に防ぐため、以下のような表示で注意を呼びかけています。

⚠ 危険 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

⚠ 警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

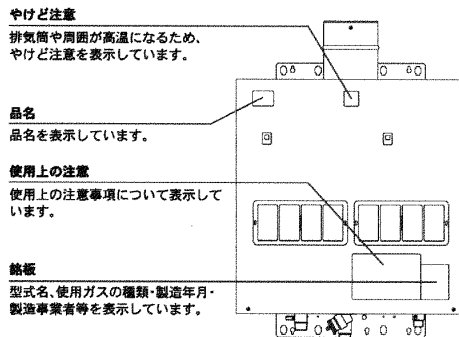
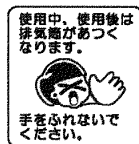
⚠ 注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



お願い ご使用になるときに、よく理解していただきたい内容を示しています。

(→P. XX参照) 参照ページを示しています。

■機器本体の表示について■



ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス給湯器をお買い上げいただき、ありがとうございました。

取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、型式名・製造年月をお知らせください。

この製品の特長

●お使いになる湯温や、湯量に応じてガス量を自動調節します。

●冬期、気温が下がると自動的に作動し、凍結を予防するヒーターが組み込まれています。

●別売のリモコンを取付けると、給湯温度は37～75℃の間で、16段階に調節できます。
メインリモコン (38-207) を取付けますと、施工時に37～80℃の間で16段階の調節ができる設定 (高温対応) にすることも可能です。
(15ページ参照)

●1台だけでなく、2台から10台までのマルチ設置が可能です。(最大550号)

☆安全に正しくお使いいただくために・・・	1
この取扱説明書の表示について	
機器本体の表示について	
☆この製品の特長・・・	2
☆必ずお守りください・・・	3
☆各部の名称とはたらき・・・	8
☆ご利用前の準備・・・	11
メインリモコン [38-207] の現在時刻の合わせかた・・・	11
☆リモコンなしでお湯を使う・・・	12
☆リモコン (別売品) でお湯を使う・・・	13
操作の基本・・・	13
優先の切替えについて・・・	14
給湯温度の調節・・・	15
☆プログラム運転を使う・・・	16
プログラム運転について・・・	16
プログラム時刻の合わせかた・・・	16
プログラム運転のしかた・・・	17
☆故障かな?と思ったら・・・	19
お湯の出かた・・・	19
機器本体・・・	20
リモコン・・・	21
リモコンのアラーム番号が出たとき・・・	22
☆冬期の凍結予防をするには・・・	23
☆点検のポイント・お手入れのしかた・・・	27
☆寸法図・・・	29
☆仕様・・・	31
☆アフターサービスについて・・・	32

お使いいただくまで

使いかた

故障かな?と思ったら

長くお使いいただくために

必ずお守りください

△ 危険

ガス漏れ時の処置

- ガス漏れに気づいたときは、すべての処置が終るまでのあいだ絶対に機器の運転をしたり、機器の近くで電気器具のスイッチの入・切や火を近づけたり、電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しない。炎や火花で引火し爆発事故になることがあります。
- ①すぐに使用をやめてガス栓を閉じる。
- ②窓や戸を開け、ガスを外に出す。
- ③お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ連絡する。



火気厳禁



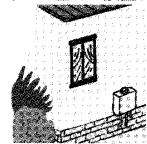
△ 警告

機器設置（および付帯工事）

- この機器は屋内設置形ですので屋外に設置しない。雨水の浸入などで故障の原因となります。



禁止



- 機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ依頼し、安全な位置に正しく設置する。設置工事に不備があると事故の原因になります。

排気筒トップに囲いをしない

- 増改築などによって排気筒トップを屋内の状態にしたり、ビニールや波板などで囲いをしない。一酸化炭素中毒や火災の原因となります。

換気注意

- 換気口・給気口は常に確保し、物などでふさがない。また、機器を使用する際は台所や脱衣室などのレンジフードや換気扇を使用しない。室内に排気が入って一酸化炭素中毒の原因になります。

排気筒の定期点検

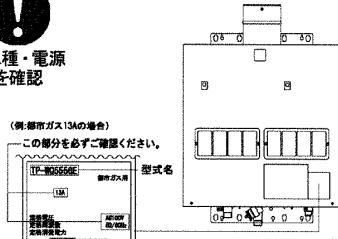
- 排気筒（排気筒トップを含む）が外れていたり、鳥の糞、落葉、スズなどつまっていませんか定期点検をする。つまっていると排気ガスが室内に漏れて一酸化炭素中毒の原因となり、危険です。

使用ガス、使用電源について

- 銘板（機器前面に貼付）に表示してあるガス種（ガスグループ）および電源（電圧・周波数）の適合を確認する。表示のガスおよび電源が一致しないと使用できない。もし、使用すると不完全燃焼による一酸化炭素中毒や爆発着火によるやけど、また機器が故障する場合があります。
- 転居されたときも、供給ガスの種類と銘板のガスの種類が一致していることを必ず確かめる。
- わからない場合はお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ連絡する。



ガス種・電源を確認



製造年月を承知しています。例) 00. 07 ~ 2000年7月の製造

安全に正しくお使いいただくために、この内容は必ずお読みください。

お読みいただきありがとうございます

△ 警告

火災予防

- (可燃物に注意)
- 機器および排気筒（排気筒トップを含む）の周囲に燃えやすいものを置かない。火災の原因となります。
- 排気筒トップは洗濯物などでおおわない。不完全燃焼の原因となります。
- (スプレー缶厳禁)
- 機器や、排気筒トップの周囲にスプレー缶、カセットコンロ用ボンベを置かない。熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発のおそれがあります。
- (引火のおそれがあるものの使用禁止)
- 機器や、排気筒トップの周囲ではガソリン、ベンジン、スプレーなど引火のおそれのあるものを使用しない。引火して火災を起こすおそれがあります。



禁止



給湯・シャワーを使うとき

- やけど防止のため出始めのお湯はいきなり体につけない。万一の機器の故障の際には、一瞬熱いお湯が出ることがあります。
- 給湯使用時は出湯管（蛇口）が熱くなるので、やけどに注意する。
- シャワーを使うときに最初熱いお湯が出るので注意する。手で温度を確かめて湯温が安定してからお使いください。
- シャワー、給湯の使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しない。突然、熱湯や冷水が出て思わぬ事故につながる場合があります。



手で温度を確かめる



ソーラーシステムと接続する場合

- ソーラーシステムと接続する場合は、出湯温度が設定温度より高くなる場合がありますので、必ずサーモスタット付混合水栓を使用する。

ガス接続について

- この機器のガス管の接続はおなじ接続です。接続はお買い上げの販売店、または大阪ガスが行いますので、お買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご相談ください。

お子様には十分な注意を

- 浴槽にお湯張りしているときに、お子様を浴室で遊ばせない。思わぬ事故につながる場合があります。



異常時の処置について

- ①給湯栓を開けても点火しない場合、また、使用中で火が消える場合は、ただちに使用を中止してガス栓を閉じる。
- ②本書の「故障かな?と思ったら」(P. 19~P. 22)に従って処置をする。
- ③上記の処置をしても直らない場合、または、使用中に異常な燃焼や臭気、異常音、異常な温度を感じた場合は、使用を中止してお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ連絡する。
- 地震、火災などの緊急のときは使用をやめ、ガス栓を閉じる。



給湯栓・ガス栓を閉じる



分解禁止

分解しない

- お買い上げの販売店、または大阪ガス以外の人による分解、修理、改造は絶対に行わない。異常作動して事故の原因となります。

必ずお守りください

⚠ 注意

電気事故防止

- 電源コードを加工したり無理な力を加えない。感電、ショートや発火による火災のおそれがあります。
- 傷んだプラグ、コードは使わない。差込みがゆるいと感電や火災の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグをさわらない。感電のおそれがあります。



禁止



- 電源プラグのほこりは、拭き取る。発火の原因になります。
- コンセントから電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜く。コードを引っ張ると内部で断線して発熱や発火の原因になります。
- この機器は接地工事（アース）が必要なので、アースがされているか確認する。



アースを接続せよ

お願い

断水のとき

- 断水のときは、給湯栓を閉じ、リモコンの運転スイッチを切ってください。

雷が鳴ったあと機器が作動しないとき

- 落雷の際に、機器内の漏電レールが作動したことが考えられます。この場合は電源プラグを一度コンセントから抜き、再度差し込んでください。それでも使用できないときはお買い上げの販売店、または最寄り的大阪ガスへご連絡ください。

用途についての注意

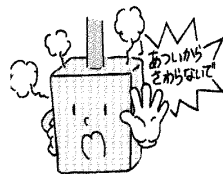
- 台所・シャワー・洗面・浴槽へのお湯張りなどの給湯以外の用途には使用しない。思わぬ事故につながる可能性があります。
- 車両・船舶への搭載しない。振動により機器が転倒し、火災や機器故障の原因になります。

やけどに注意

- 機器の使用中心または使用後しばらくは、排気筒（排気筒トップを含む）とその周辺部に絶対に手を触れない。高温になっていますのでやけどのおそれがあります。特に小さなお子様のおられるご家庭ではご注意ください。

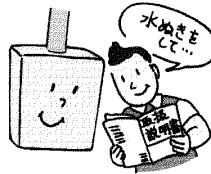


接触禁止



長期間使用しないときは

- この取扱説明書P.24の「機器の水を抜く方法」に従って、水抜きを行ってください。水が長いあいだ流れないと、一瞬濁ったお湯が出たり、冬期に凍結する場合があります。



お願い

停電時または電源プラグを抜いたとき

- この機器は、停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。
- 停電時は給湯栓を閉じてください。
- 再通電したときは、リモコンの表示を確認し、設定が必要なときは、各設定（給湯温度・現在時刻など）を行ったちご使用ください。



給湯栓を閉じる



飲用にお使いのときは

- 機器内に長時間たまった水（たとえば朝一番の使い始めのぬるい湯が出るまで）は、飲まないで雑用水としてお使いください。



市販の補助用具について

- 事故防止のため、この機器の純正部品以外は使用しないでください。
- 水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しないでください。
- やけど対策上、サーモスタート付混合水栓の使用をお勧めします。
- 混合水栓にはさまざまな種類があります。使用方法は、混合水栓の取扱説明書をご覧ください。

特監法対象機器

- この機器は、法的資格を有する者以外は設置または移設できません。また、機器に下のようなシールが貼付してあるか確認してください。シールが張られていない場合はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

電気工事	電気工事士	電気工事士
電気工事	電気工事士	電気工事士
電気工事	電気工事士	電気工事士
電気工事	電気工事士	電気工事士
電気工事	電気工事士	電気工事士
電気工事	電気工事士	電気工事士
電気工事	電気工事士	電気工事士
電気工事	電気工事士	電気工事士
電気工事	電気工事士	電気工事士
電気工事	電気工事士	電気工事士

リモコンの扱いについて

- リモコンは分解しないでください。誤動作や故障の原因となります。
- メインリモコン、サブリモコンには水をかけないでください。防湿型サブリモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。
- リモコンはお子様からはずさないよう注意してください。



分解禁止



凍結についての注意

- 凍結のおそれがあるときは、この取扱説明書のP.23「冬期の凍結予防をするには」に従って処置してください。おこたると機器内の水が凍って機器が破損することがあります。

凍結したとき

- 凍結したままでは絶対に使用しないでください。
- 凍結がとけたあと再使用するときは、すべての給湯栓から水が出ることを確認し、機器および配管から水漏れがないことを確認後、P.25「再使用する時」の項以下の操作を行ってください。
- 機器や配管が損傷した場合、高額な修理費がかかります（有料）。
- 凍結予防のために電気を使用していますので緊急のとき以外は電源プラグを抜かないでください。

日常の点検・お手入れ

- 日常の点検、お手入れをしてください（詳しくはP.27をご覧ください）。
- 故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このときご家庭で修理せず、お買い上げの販売店、または最寄り的大阪ガスへご連絡ください。
- 浴槽や洗面台が、水中の微量の銅イオンと脂肪分（湯アカ）により青く着色することがあります。日々、浴槽や洗面台のお手入れをするとともに、万一着色した場合はクレンザーやアンモニア水（10%程度）等で拭き取ってください。

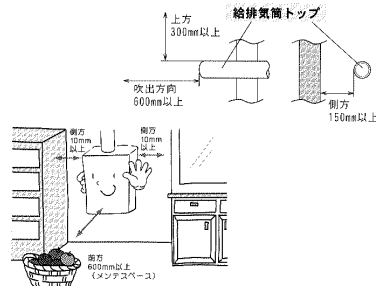
お買い上げの販売店へご連絡ください

設置する場所や状況について

お願い

可燃物との隔離距離

- 機器および排気筒トップを設置する場所の周囲の壁、天井などが防火上安全なものであるか確認し、可燃性の部分から十分離して設置してください(不明な点は販売店へご相談ください)。



給排気について

- 機器および、排気筒トップは給排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因となります。

排気ガス

- 排気ガスが直接建物の外壁やアルミサッシなどに当たらないよう施工してください。外壁が変色したりアルミサッシが腐食したりするおそれがあります。
- 排気筒トップの周囲には、排気ガスによって加熱されて困るもの(危険物・植物・ペットなど)を置かないでください。



塩ビ管の使用について

- 給水・給湯配管に塩ビ管を使わないでください。機器の使用直後に熱交換器の後沸きにより塩ビ管が破裂し、熱湯がふき出したり、多量の水漏れの原因になります。

地下水や温泉水、井戸水の注意

- この機器は上水道用です。地下水や温泉水、井戸水を使用される場合は施工前に十分、水質を確認してください。水質によっては、機器内の配管内部に異物が付着するなど耐久性を損なう場合や、機器が正しく作動しないことがあります。保証期間内でも有料修理となります。

ほこり

- 油煙、ペットの毛など、ほこりのたちやすい場所には設置しないでください。また、給気フィルターのお手入れはこまめに行ってください。ほこりが給気フィルターをふさいだり、燃焼用の送風機の性能を低下させ、不完全燃焼の原因となります。

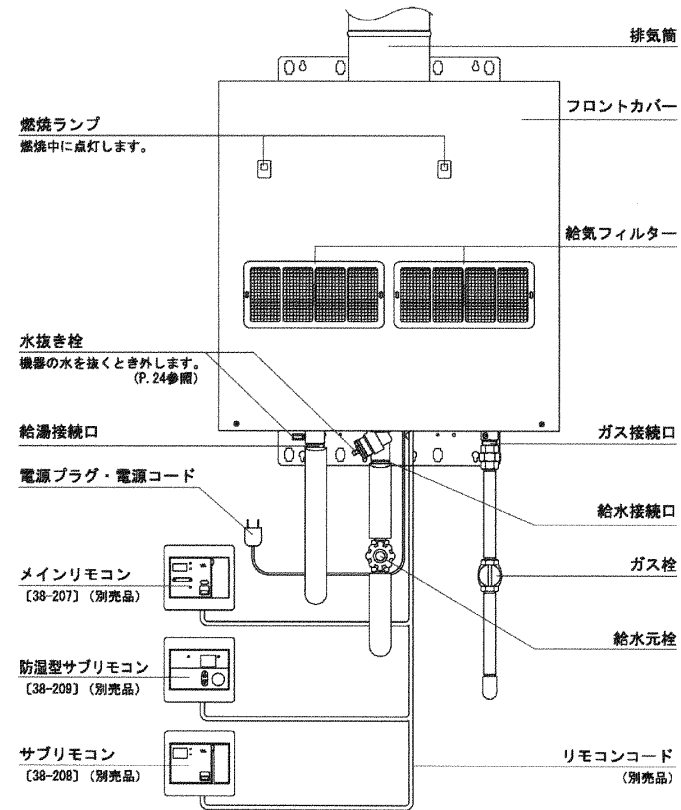
乾電池に関するご注意

- 乾電池を使用しているガス機器を大型ゴミなどで廃棄される場合は必ず乾電池を取り外してください。そのままにしておきますと、思わぬ事故の原因になります。

各部の名称とはたらき

この機器の各部の名称とはたらきをご紹介します。

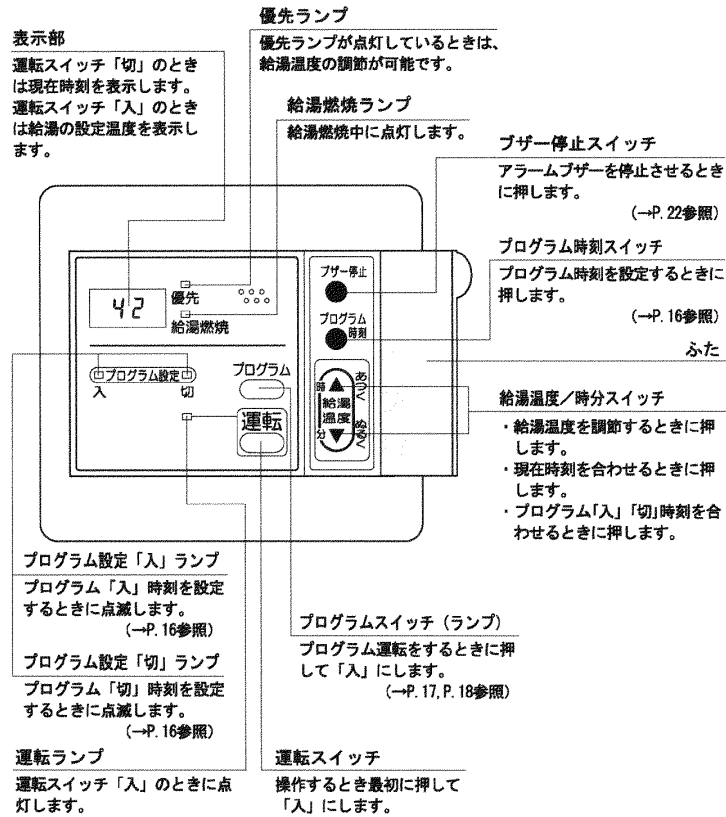
■ 機器本体



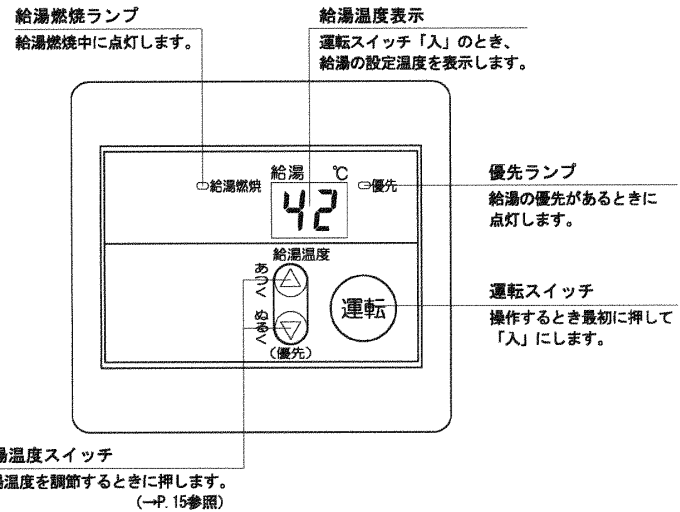
お使いいただくまえに

各部の名称とはたらき

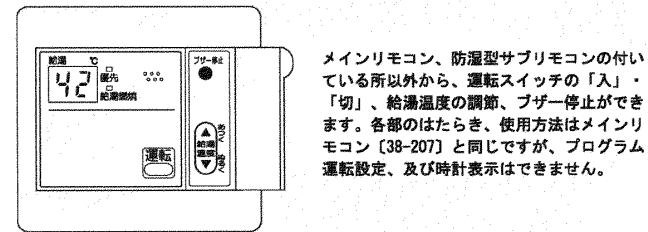
■メインリモコン〔38-207〕(別売品)



■防湿型サブリモコン〔38-209〕(別売品)



■サブリモコン〔38-208〕(別売品)



お使いいただくまえに

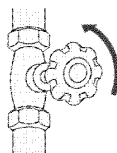
ご利用前の準備

はじめてお使いになるときは、まず屋内にある機器の準備をします。

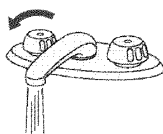
■機器の準備

1 この取扱説明書のP. 27の内容に従って、機器や機器周辺の点検を行います。

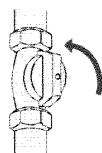
2 給水元栓を全開にします。
機器の下にあります。



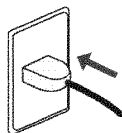
3 給湯栓を開け、水が出ることを確認したら閉じます。



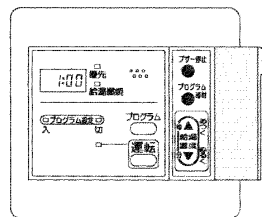
4 ガス栓を全開にします。
機器の下部にあります。



5 電源プラグをコンセントに差し込みます。
コンセントは機器周辺にあります。

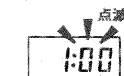


メインリモコン〔38-207〕の現在時刻の合わせかた



設定した現在時刻は運転スイッチを「切」にしても記憶されています。ただし、電源プラグを約50分以上抜いたままにしたとき、また約50分以上停電したときは1:00に切り替わります。再度設定してください。

①時/分スイッチを同時に押す。



・時刻表示が点滅します。

②時スイッチを押して時の位を合わせる。



・時間の表示は24時間表示です。
(0:00~23:59)
(例) 10:10に設定

●スイッチを押し続けると連続的に数字が変わります。

③分スイッチを押して分の位を合わせる。



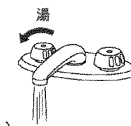
・時刻合わせ後約10秒で時刻表示が点滅から点灯にかわり、設定終了となります。

リモコンなしでお湯を使う

給湯栓を開ければお湯が出ます。
お湯の温度は約60°Cの高温(一定)になります。
必ず混合水栓をお使いください。

1 給湯栓を開けて、お湯を出します。

給湯器の燃烧ランプが点灯します。
(どちらか一方または左右共、点灯します。)

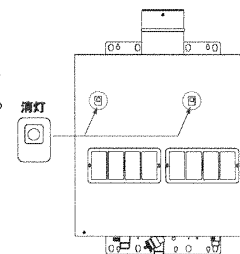
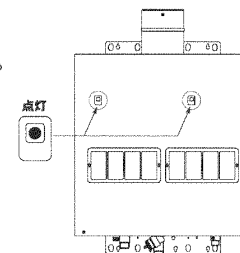


2 お湯と水を混ぜて、お湯の温度を調節します。



止めるには
お湯を
お湯を
給湯栓、給水栓を閉じ、お湯を止めます。

給湯器の燃烧ランプが左右共、消灯します。
(ただし、他の給湯栓が使用中のときは消えません。)



警告 ●給湯、シャワー等を使うときは、給湯温度を確認し、手で温度を確かめてから使う。やけどのおそれがあります。

ご注意ください

●給湯栓を閉じても機器の燃烧用ファンモーターがしばらく回転しますが、故障ではありません。

お願い

●使いはじめは給湯配管の水が流れ出るまでしばらくお湯が出ません(配管の長さによりお湯が出るまでの時間が異なります)。

●給湯栓をしぼり過ぎると、熱いお湯が出たり、水になることがあります。

●水温が30°C近くなる夏期では、低温にセットしても給湯栓の湯量が少ないと給湯温度が高くなります。この場合は給湯栓をさらに開けて湯量を多くするか、水と混合してお使いください。

●この機器は約60°C一定出湯の他に約45°C一定、約75°C一定、約80°C一定出湯が可能です。(工場出荷時は約60°C一定) 設定温度を変える場合は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへお問い合わせください。

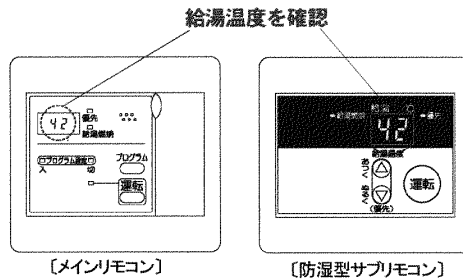
使いかた

リモコン（別売品）でお湯を使う

■操作の基本 リモコンのスイッチをONにして、給湯栓を開けるだけの簡単操作でお湯が使えます。

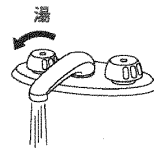
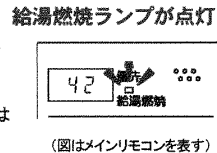
1 メインリモコンまたは浴室リモコンに給湯温度が表示されているか確認します。

表示されていないときは、運転スイッチを押す。



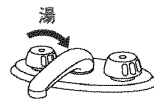
2 給湯栓を開けます。

しばらくしてお湯が出ます。給湯燃焼ランプが点灯します。はじめてお使いになるときの給湯温度は42°Cに設定されています。



給湯栓を閉じ、お湯を止めます。

お湯が止まると、給湯燃焼ランプが消灯します。(ただし、他の給湯栓が使用中のときは消えません。)



⚠警告 ●給湯、シャワー等を使うときは給湯温度を確認し、手で温度を確かめてから使う。やけどのおそれがあります。

📌ご注意ください

●給湯栓を閉じても機器の燃焼用ファンモーターがしばらく回転しますが、故障ではありません。

✖️

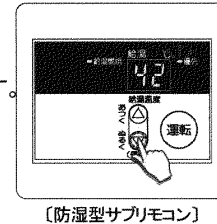
- 使いはじめは給湯配管の水が流れ出るまでしばらくお湯が出ません(配管の長さによりお湯が出るまでの時間が異なります。)
- 給湯栓をしぼり過ぎると、熱いお湯が出たり、水になることがあります。
- 水温が30°C近くなる夏季では、低温にセットしても給湯栓の湯量が少なく給湯温度が高くなります。この場合は給湯栓をさらに開けて湯量を多くするか、水と混合してお使いください。

■優先の切替えについて メインリモコンの給湯温度で浴室のシャワーを使うと熱い場合ががあります。給湯温度が調節できるリモコンを「優先」と呼び、リモコンのどちらか一方を優先にできます。シャワーを使うときは、浴室の防湿型サブリモコンを優先にし、防湿型サブリモコンで設定した湯温でシャワーを使えます。また、優先を切替えることを「優先切替」といいます。

■優先を切替える

1 メインリモコンが優先のときに防湿型サブリモコンを優先にするには防湿型サブリモコンの「優先」スイッチを押します。

防湿型サブリモコンに優先ランプが点灯します。防湿型サブリモコンが優先となり、防湿型サブリモコンからお湯の温度調節ができます。



2 防湿型サブリモコンが優先のときにメインリモコンを優先にするにはメインリモコンの運転スイッチをOFFにして再度ONにします。

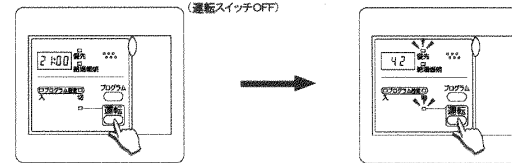
メインリモコンに優先ランプが点灯します。メインリモコンが優先となり、メインリモコンからお湯の温度調節ができます。

運転ランプが消える

(運転スイッチOFF)

運転ランプと優先ランプが点灯

(運転スイッチON)



⚠警告 ●シャワー・給湯の使用中に優先を切替えない。お湯の温度が急変してやけどをするおそれがあります。

📌ご注意ください

- メインリモコンでは優先ランプが点灯していないときに給湯温度を設定しようとすると、“ピピピピ”と警告音が鳴って受け付けません。優先を切替えてから給湯温度を設定してください。
- 優先を切替えるときには他の場所で使われていないことを確認してから切替えてください。

✖️

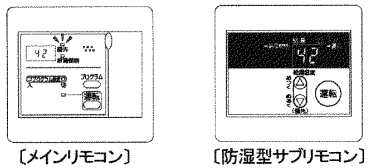
- 優先を切替えたとき、切替え前の給湯温度が60°C以上だった場合には、自動的に55°Cにセットし直されます。
- やけどを防ぐため、サーモスタット付混合水栓の使用をお勧めします。
- 別売のサブリモコン(38-208)を設置している場合。
 - ・メインリモコンが優先のときは、サブリモコンにも優先があります。
 - ・サブリモコンとメインリモコンは連動しています。サブリモコンのスイッチをONにすると、メインリモコンとサブリモコンの両方に優先ランプが点灯し、メインリモコンでも給湯温度を調節できます。

リモコン（別売品）でお湯を使う

■給湯温度の調節 メインリモコン、防湿型サブリモコンでお湯の温度を調節します。

1 給湯温度を調節したいリモコンに優先ランプが点灯しているか確かめます。

優先ランプが点灯していないときには、P.14に従って点灯させてください。



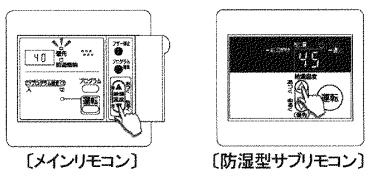
2 給湯温度スイッチで給湯温度を調節します。

- ▲ スイッチを押すと温度が高くなります。
- ▼ スイッチを押すと温度が低くなります。

以下の16段階で設定できます。

標準	➡	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	50	55	60	70	75
高温対応	➡	37	38	39	40	41	42	43	44	45	50	55	60	65	70	75	80
		洗濯洗など			シャワー・給湯など			混合水栓で使うときやおふろへのあつたし湯など									

※上記のどちらかに設定できます。(目安の温度)
※給湯温度の高温対応の設定は、設置工事時に行います。設定は施工業者に確認してください。(メインリモコン取付け時)

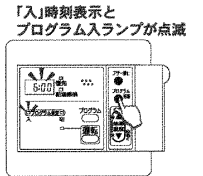


- お願い**
- 55℃以下の温度でシャワーや給湯を使っているときは、やけど防止のため60℃以上には設定できません。60℃以上に設定しようとすると“ピピピピ”と警告音が鳴って受け付けません。
 - 上記で60℃以上に設定したいときは、いったん出湯を止めてから行ってください。また、設定するときは他の場所で給湯が使われていないか、よくご確認ください。
- XE**
- はじめてお使いのときは、給湯温度表示が42℃になります。
 - 通常、給湯温度は運転スイッチをOFFにしても記憶されていますが、給湯温度を60℃以上に設定したときはやけど等の危険防止のため、再度運転スイッチを入れたとき自動的に55℃にセットされます。
 - 表示している温度と給湯から出る湯温は、配管の長さや外気温等により必ずしも一致しません。表示温度は目安としてお考えください。

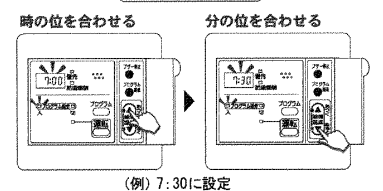
プログラム運転を使う

- プログラム運転について プログラム運転はメインリモコンを取付けている場合に使えます。毎日決まった時刻に自動で運転の「入」/「切」ができます。
- プログラム時刻の合わせかた まず、メインリモコンの現在時刻が合っているかを確認します。合っていない場合は合わせてください。(→P.11参照) そのあとプログラム時刻を合わせます。

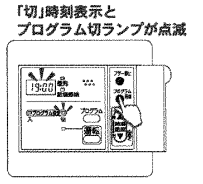
1 プログラム時刻スイッチを押します。
「入」の時刻が点滅し、プログラム入ランプが点滅します。



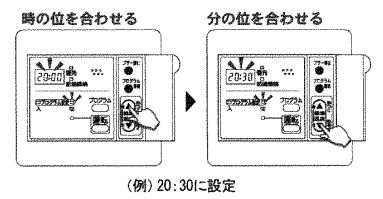
2 時スイッチを押して時の位を設定し、分スイッチを押して分の位を設定します。
時スイッチを押すと、時の位が、分スイッチを押すと分の位が変わります。



3 プログラム時刻スイッチを押します。
「切」の時刻が点滅します。プログラム入ランプが消灯し、プログラム切ランプが点滅します。



4 時スイッチを押して時の位を設定し、分スイッチを押して分の位を設定します。
時スイッチを押すと、時の位が、分スイッチを押すと分の位が変わります。約10秒後、表示部が現在時刻表示、または給湯温度表示に戻り、プログラム切ランプが消灯します。



- XE**
- セットしたプログラム時刻は、記憶されていますので、利用する時刻が決まっているときはプログラム時刻は毎日セットする必要はありません。
 - ▲▼スイッチは押し続けると連続的に数字が変わります。

使いかた

プログラム運転を使う

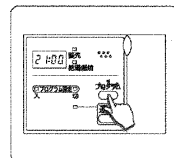
■プログラム運転のしかた

- メインリモコンの現在時刻・プログラム時刻を確認してください。
プログラム時刻の確認は、プログラム時刻スイッチのみを押して行ってください。1回押すごとに順次表示します。
- プログラム時刻の変更は“プログラム時刻の合わせかた”(P.16)を参照してください。

プログラム運転を
設定する

プログラムスイッチを押します。

プログラムスイッチが点灯します。
プログラム運転がセットされた状態になります。

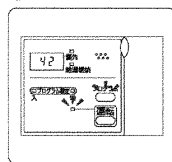


(図の時刻表示は現在時刻を表示しています。)

「入」時刻になると

運転が「入」になり、
運転ランプが点灯します。
表示部が給湯温度表示になります。
給湯栓を開けばお湯が出ます。

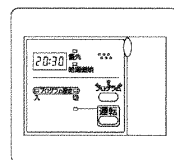
運転ランプが点灯



「切」時刻になると

運転が「切」になり、
運転ランプが消灯します。
メインリモコンでは表示部が
現在時刻表示になります。
防湿型サブリモコン・サブリモコンでは
給湯温度表示が消えます。

運転ランプが消灯



- お願い**
- プログラム運転中(プログラムスイッチ点灯中)でも、運転ランプ(メインリモコン)が消灯しているときは給湯栓を開けてもお湯は出ません。給湯を使用する場合は、運転スイッチを「入」にしてから使用してください。

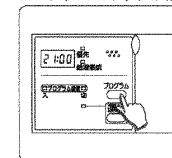
プログラム
運転を
解除する

運転の停止中に解除した場合

プログラムスイッチを押します。

プログラムスイッチが消灯し、
プログラム運転が解除された状態になります。

プログラムスイッチが消灯

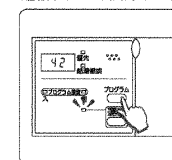


運転中に解除した場合

プログラムスイッチを押します。

プログラム運転は解除されますが、
通常運転になります。
プログラムスイッチは消灯し、
運転ランプは点灯したままです。

プログラムスイッチは消灯、
運転ランプは点灯したまま



プログラム
運転中
には
停止

プログラム運転中(プログラムランプ点灯中)に
運転を停止するときは、

運転スイッチを押します。

運転動作が変わり(運転→停止、停止→運転)もう1度押すともとに戻ります。
運転中は運転ランプが点灯し、停止中は消灯します。
プログラム運転の設定は解除されません。
(プログラムスイッチは点灯したままです。)

- お願い**
- プログラム運転をセットした後、停電や電源プラグを抜いたときは、セットが解除されます。電源復帰後、プログラムスイッチを押してセットし直してください。

使いかた

故障かな?と思ったら

■お湯の出かた

こんなとき

故障ではありません

- 給湯栓を開いてもすぐにお湯が出ない
最初に使うときは、機器から給湯栓までの配管内の水が押し出されるまで少し時間がかかります。
- 夏などぬるいお湯が出ない
給湯栓を十分開いてお湯の量を多くすれば温度は安定します。水温が高いとき、ぬるいお湯を少量出そうとするとお湯の温度が高くなる場合があります。
- 冬などあついお湯が出ない
お湯の量を少なめにしてお使いください。水温が低いときには、お湯を出しすぎるとあついお湯が出ない場合があります。
- 給湯栓を絞りすぎて水になった
給湯栓を十分開いてお湯の量を多くすれば温度は安定します。機器から出るお湯の量が、1分間に約3.0ℓ以下になると消火するためです。
- お湯が白く濁って見える
水の中の空気が分離して気泡となるためです。ビール・サイダー等の泡と似た現象であり、汚濁とは違って無害なものです。

こんなとき

ここを調べてください

- あついお湯が出ない
◎湯温調節は適切ですか? (P. 15)
◎ガス栓が全開になっていますか? (P. 11)
- ぬるいお湯が出ない
◎湯温調節は適切ですか? (P. 15)
◎給水口フィルターが詰まっていますか? (P. 28)
◎給湯栓が十分開いていますか? (P. 12, P. 13)
◎給水元栓が全開になっていますか? (P. 11)
- お湯が出ない (運転しない)
◎電源プラグが確実にコンセントに差し込まれていますか? (P. 11)
◎停電していませんか? (P. 6)
◎ガス栓が全開になっていますか? (P. 11)
◎給水元栓が全開になっていますか? (P. 11)
◎給水口フィルターが詰まっていますか? (P. 28)
◎給湯栓が十分開いていますか? (P. 12, P. 13)
◎断水していませんか? (P. 26)
◎凍結していませんか? (P. 26)

それでもわからないときは
アフターサービスをお申し付けください

■機器本体

こんなとき

故障ではありません

- 寒い日に排気筒トップから白い湯気が出る
冬に吐く息が白いのと同じように、排気ガス中の水蒸気が白く見えます。
- 出湯停止後もファンの回転音がする
再使用時の点火をより早くするためしばらくは回転しています。
- 給湯栓を閉じると、給水側の水抜き栓から一瞬水が漏れる
給水側の水抜き栓は過圧逃し弁をかねています。水の圧力を逃がすために水が出る場合があります。

こんなとき

ここを調べてください

- 燃焼ランプが点灯しない (運転しない)
◎電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか? (P. 11)
◎停電していませんか? (P. 6)
◎ガス栓が全開になっていますか? (P. 11)
◎給水元栓が全開になっていますか? (P. 11)
◎給水口フィルターが詰まっていますか? (P. 28)
◎給湯栓が十分開いていますか? (P. 12, P. 13)
◎断水していませんか? (P. 26)
◎凍結していませんか? (P. 26)
上の8項目を確認して、*リセット操作をしてください。
- 燃焼ランプが点滅した
◎ガス栓が全開になっていますか? (P. 11)
◎給水元栓が全開になっていますか? (P. 11)
◎給水口フィルターが詰まっていますか? (P. 28)
◎給気フィルターは正しく装着されていますか? (P. 28)
上の4項目を確認して、*リセット操作をしてください。
- 使用中に消火した
レンジフードや換気扇が強すぎて給気不足になったりストップなどの長期間使用で不完全燃焼すると自動的に消火します。レンジフードを弱にするか、換気口を開けて換気をしてください。
- 運転中に機器から異常音が聞こえる
点検依頼してください。

*リセット操作
運転スイッチを「切」にし、5秒後「入」にしてお使いください。

それでもわからないときは
アフターサービスをお申し付けください

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら

■リモコン

こんなとき	故障ではありません
現在時刻が合っていない	約50分以上の停電があったときや、約50分以上電源プラグを抜いた後再通電すると時刻が1:00から進み始めます。再度、現在時刻を合わせてください。(メインリモコンを取付けている場合。)
こんなとき	ここを調べてください
画面表示しない	◎電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか? (P. 11) ◎停電していませんか? (P. 6)
リモコンの運転ランプが点灯しない	◎電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか? (P. 11) ◎停電していませんか? (P. 6) ◎ガス栓が全開になっていますか? (P. 11) ◎給水元栓が全開になっていますか? (P. 11) ◎給水口フィルターが詰まっていますか? (P. 28) ◎給湯栓が十分に開いていますか? (P. 12, P. 13) ◎断水していませんか? (P. 26) ◎凍結していませんか? (P. 26) 上の8項目を確認して、*リセット操作をしてください。
給湯燃焼ランプが点灯しない(運転しない)	
リモコンのアラーム番号が表示されたとき	リモコンのアラーム番号を確認してください。(P. 22)

それでもわからないときは
アフターサービスをお申しつけください

*リセット操作
運転スイッチを「切」にし、5秒後「入」にしてお使いください。

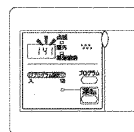
■こんな場合には安全装置が働きます。()はアラーム番号

- 寒いとき、機器の電気ヒーターが働き機器内の凍結を予防します。.....凍結予防装置
- バーナーが正常に燃焼しないときに作動し、ガスを自動的に停止します。(121)・立消え安全装置
- 電気回路に漏電が生じた場合に電気を停止します。.....漏電安全装置
- 給水されていないのに燃焼している場合にガスを止めます。(721).....残火安全装置
- 機器の温度が異常に上昇した場合にガスを止めます。(141).....過熱防止装置
- 機器内の水圧が異常に上昇した場合に機器の破損を防止します。.....過圧防止安全装置

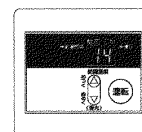
■リモコンのアラーム番号が出たとき

- メインリモコンおよびサブリモコンは、アラーム番号の表示点滅と同時にアラームブザーが鳴ります。アラームブザーの解除はメインリモコンまたはサブリモコンのブザー停止スイッチを押して行ってください。(アラームブザーは解除しますが、アラーム番号の点滅表示は解除されません。)防湿型サブリモコンは、アラーム番号の表示点滅のみでブザーは鳴りません。
- 不具合が生じたとき、その原因をアラーム番号でお知らせします。原因に応じて表示部にアラーム番号が表示点滅し、自動的に運転を停止します。
- アラーム番号が表示点滅したときは、お買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。そのときは表示されているアラーム番号もお知らせください。

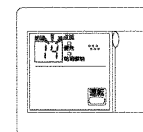
例：図のようにアラーム番号が点滅してお知らせします。



【メインリモコン】



【防湿型サブリモコン】



【サブリモコン】

本体表示	アラーム番号	原因	処置
燃焼ランプ 消灯	031(03) 141(14) 711(71) 741(74) 751(75) 761(76)	制御基板の異常のため	ガス栓が全開であることを確認後、リモコンの運転スイッチを「切」にし、5秒後運転スイッチを「入」にしてお使いください。 ↓ それでもアラーム番号が出るときは、修理を依頼してください。
	701(70)	設定温度より高い温度で出湯されたため(50℃以下の設定温度で60℃以上のお湯が出たため)	
燃焼ランプ 点滅	111(11) 121(12)	火がつかないときや、使用中に炎が消えてしまったため	
	311(31) 321(32) 331(33)	温度検出器の故障のため	
	211(21) 391(39) 611(61) 721(72)	燃焼系の故障のため	
	510(51)	ガス回路の故障のため	
燃焼ランプ 点滅	441(44) 541(54) 651(65) 661(66)	水回路の故障のため	
	101(10)	給排気の異常が発生したため 燃焼異常検知装置が作動した	使用できますが十分な給湯能力が出ない状態ですので、なるべく早く修理を依頼してください。
燃焼ランプ 点滅	991(99)	燃焼異常が発生したため 燃焼異常検知装置が作動した	機器を使用できません。電源プラグを抜かないで、ガス栓・給水元栓を閉じて修理を依頼してください。
燃焼ランプ 点滅	051(05)	給気フィルター一部の詰り、閉塞により給気不足になったため	使用できますが給気フィルターを掃除してください。(→P. 28参照)
		給気フィルターが正しく装着されていないため	給気フィルターを正しく装着してお使いください。(→P. 28参照)

()内は防湿型サブリモコン、サブリモコンの表示です。

故障かな?と思ったら

冬期の凍結予防をするには

■凍結予防装置について

通常の寒さのとき(外気温-15℃程度まで)

この機器には、気温が下がってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒーターがついています。そのため外気温-15℃程度までは、機器の電源プラグをコンセントに入れた状態にしておけば、機器内の凍結は予防できます。これらの装置は、運転スイッチの「入」/「切」に関係なく作動します。



- お願い**
- 凍結予防装置は電源プラグを抜くと作動しませんのでご注意ください。
 - 機器内の凍結は予防できますが、配管は凍結することがありますので、配管は必ず保温材で被覆してください。

寒波などで特に寒くなりそうときは、以下のいずれかの方法で凍結予防をしてください。

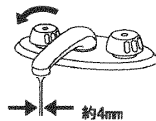
1. 給湯栓を開いて水を流す方法 2. 機器の水を抜く方法

1. 給湯栓を開いて水を流す方法

この方法は機器本体だけでなく、給水・給湯配管やノズル類および給湯栓の凍結予防に有効です。

1 別売のリモコンを取り付けている場合は運転スイッチを押してリモコンを「切」にします。リモコンを取り付けていない場合は電源プラグを抜きます。

3 浴室の給湯栓を開け、1分間に400cc(牛乳びん2本ぐらい)の水を流し続けます。流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量を確認してください。



2 ガス栓を閉じます。

お願い ●次の朝、お使いになるときは、給湯栓を開けて水が出ることを確認してから、運転スイッチを「入」にしてください。

メモ ●1. 給湯栓を開いて水を流す方法で凍結予防をしているときは、家の人に凍結予防のために水を流していることをお知らせください。水を止めると凍結します。

凍結を予防するための操作について説明します

2. 機器の水を抜く方法

入居前や長期不在で家の電気ブレーカーを「切」にする場合や、電源プラグを抜く必要がある場合には、この方法で機器内の水を排水し凍結予防をします。排水後は、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。

△注意 ●使用後すぐに水抜きをしない。やけどのおそれがあります。機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行ってください。

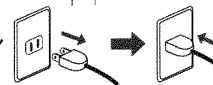
1 ガス栓(1)を閉じます。



5 すべての給湯栓を全開にします。

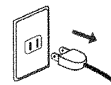


2 電源プラグ(5)を抜き、再度コンセントに差し込みます。



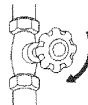
6 水抜き栓(3)(4)を外して水が出ることを確認します。

3 15秒ほど待ち、再び電源プラグ(5)を抜きます。

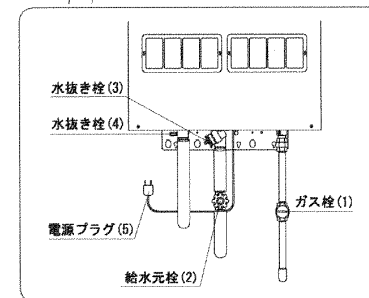


7 水抜き終了後、水抜き栓を元の位置に戻します。

4 給水元栓(2)を閉じます。



・以上の操作で機器内の水は排水されますので、次にお使いになるまで、そのままにしておいてください。



お願い ●水抜きをするとき床などに水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。

長くお使いいただくために

冬期の凍結予防をするには

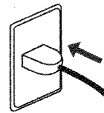
■再使用するとき

機器内の水を排水したあと、しばらくして再度使用するときには次の操作をしてください。

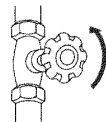
- 1 水抜き栓 (3) (4) およびすべての給湯栓を閉じます。



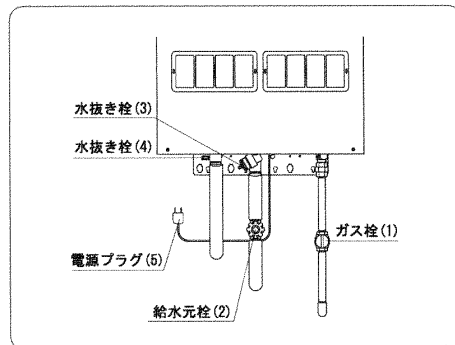
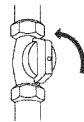
- 3 電源プラグ (5) をコンセントに差し込みます。



- 2 給水元栓 (2) を開けて、再度、すべての給湯栓を開けて水が出ることを確認します (機器や配管より水漏れがないか確認してください)。



- 4 ガス栓 (1) を開けます。

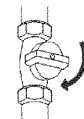


お願い ●再使用するときは、水抜き栓を元通りに確実に閉じてください。閉じかたが不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。

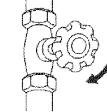
■凍結してしまったとき

凍結したときは給湯栓を開けても水は出てきません。解凍するまで待って、次の操作により水が出ることを確認してから運転してください。

- 1 ガス栓 (1) を閉じます。

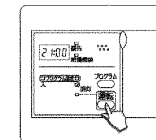


- 2 給水元栓 (2) を閉じます。
(配管が破損していると、解凍したときの水漏れの原因になります。)

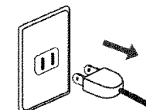


- 3 別売品のリモコンを取付けている場合は運転スイッチを「切」にします。リモコンを取付けていない場合は電源プラグを抜きます。

リモコンを取付けている場合



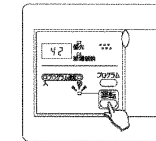
リモコンを取り付けていない場合



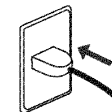
- 4 ときどき給水元栓 (2) と給湯栓を開けて、給湯栓から水が出ることを確認します。水が出てくれば使用できます。通水したら機器および配管より水漏れがないことを確認してください。ガス栓 (1) を開けます。

- 5 別売品のリモコンを取付けている場合は運転スイッチを「入」にします。リモコンを取付けていない場合は電源プラグをコンセントに差し込みます。

リモコンを取付けている場合



リモコンを取り付けていない場合



お願い ●取扱説明書に従った凍結予防の処置をせずに機器や配管が破損すると、高額な修理費用 (有料) がかかる場合があります。
●給水・給湯配管が凍結すると配管や給湯栓が破損することがあります。解凍後は、水道メーターを見るなど水漏れていないことを確認してください。
●機器や配管が破損し、床や壁などを濡らして生じる損害はお客様の責任となります。

長くお使いいただくために

点検のポイント・お手入れのしかた

■点検のポイント

次の11のポイントで点検してください。

- 1 機器および配管から水漏れはありませんか？
水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。
- 2 機器および配管からガスの臭気がしませんか？
- 3 運転中に機器から異常音がしませんか？
- 4 機器の外観に異常は見られませんか？
- 5 機器のまわり、および排気口のそばに燃えやすいものはありませんか？
- 6 排気筒トップへの積雪や、屋根から落ちた雪により排気口が塞がれていませんか？
排気口が塞がれていると、機器が不完全燃焼することがあります。積雪時には排気筒トップの点検、除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が排気口を塞ぐおそれがあるときはお買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- 7 排気筒（排気筒トップを含む）が損傷やつまり、外れていることはありませんか？
- 8 給気フィルターにゴミ、ほこりが詰まっていますか？
- 9 給気フィルターの変形、破損はありませんか？
- 10 給気フィルターが機器に確実に装着されていますか？
- 11 給気フィルターが物などで塞がれていませんか？



■お手入れのしかた

機器本体およびリモコンのお手入れ

- 汚れは、水にぬらしたやわらかい布をかたく絞って、軽くふき取ってください。
- シンナー・ベンジンなどは使わないでください。変形する場合があります。



■定期点検のおすすめ(有料)

- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年一回程度の定期点検をおすすめします。お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご相談ください。

警告 ●フロントカバーを外したり、リモコンを分解したりしない。

●ご注意ください

- 機器本体のお手入れは、ガス栓を閉じ、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。また、怪我などしないよう、指先には十分注意してください。
- 給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルター(金網)を掃除してください。
- メインリモコン、サブリモコンには水をかけないようにしてください。リモコンの内部には電気部品が入っていますので故障の原因となります。また、防湿型サブリモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。

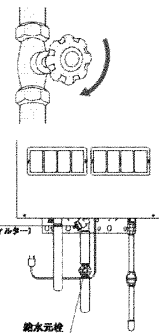
- お願い** ●洗剤およびシンナー、ベンジンなどでは拭かないでください。
●水圧の低い地域では泡沫器は使用しないでください。

安全に長くお使いいただくために、点検とお手入れは定期的に行いましょう。

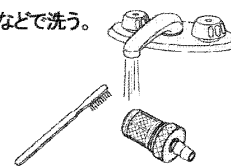
■給水口フィルターの掃除

給水口フィルターが詰まるとお湯の出が悪くなったり、お湯にならない場合があります。そのときは、次の要領で給水口フィルターを掃除してください。(特に新築などの場合)

1 給水元栓を閉じる。



3 歯ブラシなどで洗う。



2 給水接続口にある水抜き栓を外す。

4 元のように取り付ける。

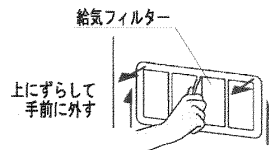
- お願い** ●給水口フィルターを外すと水が出ます。水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水をうけてください。

■給気フィルターの掃除

給気フィルターにほこりやゴミが詰まると、別売のメインリモコンおよびサブリモコンの表示部にアラーム番号(メインリモコン:051、サブリモコン:05)が表示点滅し、“ピッピッピッ・・・”と鳴ります。給気フィルターはときどき掃除してください。アラームブザーの停止は、メインリモコンまたはサブリモコンのブザー停止スイッチを押して行ってください。

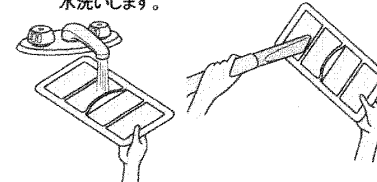
給気フィルターの外し方

- 別売のリモコンを取り付けている場合は、運転スイッチを押してリモコンを「切」にします。リモコンを取り付けていない場合は電源プラグを抜きます。
- 上にずらして手前に引くとフィルターが外れます。



給気フィルターを掃除する

- ほこりやゴミを掃除機で吸い取るか、水洗いします。



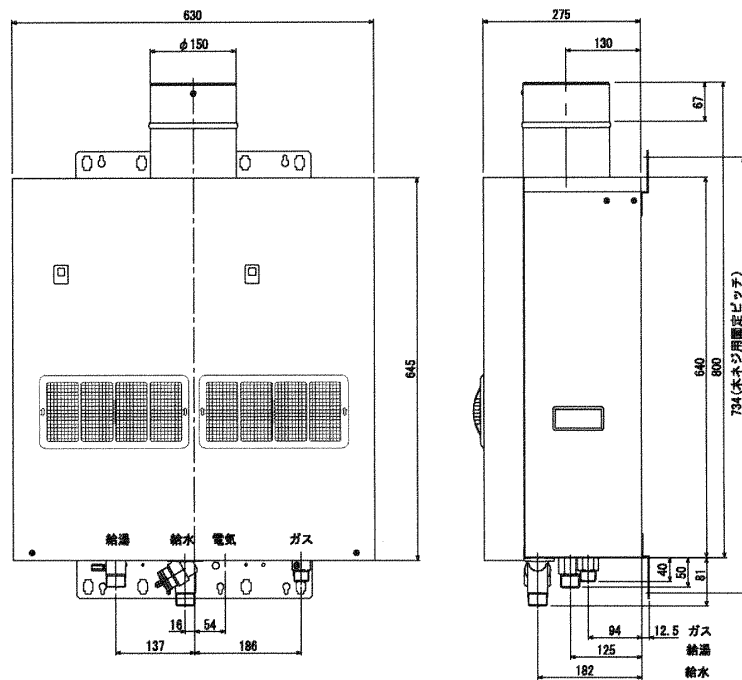
- 元のように取り付けます。濡れている場合は、よく乾かしてから取り付けてください。

- お願い** ●ベンジン・シンナー・みがき粉などで拭いたり、液状殺虫剤や熱湯などをかけないでください。
●給気フィルターを外したまま使用したり、ぬれたまま取付けて使用しないでください。故障の原因となります。
●給気フィルターを掃除するときは、必ず2ヶ所の給気フィルターを掃除してください。
※給気フィルターが変形・破損したときには、お買い上げの販売店でお求めください。

寸法図

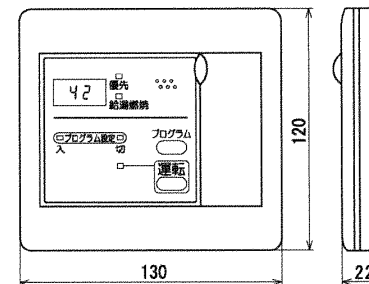
■機器本体

(単位: mm)

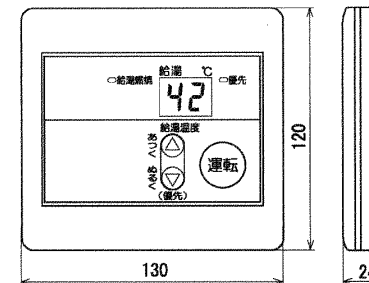


■メインリモコン [38-207]

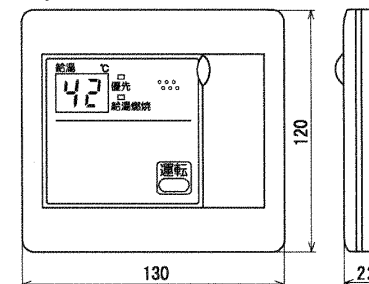
(単位: mm)



■防湿型サブリモコン [38-209]



■サブリモコン [38-208]



長くお使いいただくために

仕様

〔仕様表〕

項	目	内容
品名		633-1010
型式名		TP-WQ555GE
外形寸法 (mm) / 質量 (kg)		幅630×奥行275×高さ645/62
種類	給湯方式	先止め式
設置方式		屋内設置壁掛形
点火方式		AC100V連続放電式(ダイレクト着火)
希望所要水圧		100~500kPa (1.0~5.0kgf/cm) ※
最低作動水圧		10kPa (0.1kgf/cm)
接続ガス		20A (R3/4) オネジ
給湯		25A (R1) オネジ
電源		AC100V (50/60Hz)
消費電力	定格	200W
凍結予防時		232W
電源コード		VCT (2心) 機外長2.0m
安全装置		水流検知装置 (水量センサー) 過熱防止装置 (温度ヒューズ) 送風検知装置 (回転数検知方式) 立消え安全装置 (フレイムロッド方式) 漏電安全装置 (漏電リレー) 過圧防止安全装置 (スプリング式) 凍結予防装置 (電気ヒーター) 勝導雷保護装置 (サージアブソーバー) 残火安全装置 (バイメタル式) 風圧検知装置 (風圧スイッチ)
付属品		アース線・壁面固定金具一式
別売品		メインリモコン・防湿型サブリモコン・サブリモコン・リモコンコード

〔能力表〕

使用ガス 使用ガスグループ	1時間あたりのガス消費量	出湯能力(最大時) (ℓ/min)		ガス接続
		水温+25℃上昇	水温+40℃上昇	
都市ガス 13A	122kWh [105,000kcal/h]	(55.0)	34.4	20A (R3/4)

◎ガス: JISに規定する標準ガス・標準圧力のとき。

◎出湯能力は、水圧200kPa [2.0kgf/cm] のときで、温度を高めめに設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。() 内の数値は相当能力です。

◎本仕様は改良のため、お知らせせずに変更することがあります。

※十分な出湯能力を出すためには、200kPa [2.0kgf/cm] 以上の水圧が必要です。

アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

- P. 19～P. 22の「故障かな?と思ったら」の項を確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合には、ご自分で修理なさらないで、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- アフターサービスをお申し付の際は、次のことをお知らせください。
 - (1) 氏名・住所・電話番号・道順 (付近の目印等)
 - (2) 品名: 633-1010 (ガスの種類: 例えば13A)
(右のようなラベルを機器
前面に貼り付けてあります。)
 - (3) 現象 (故障または異常内容、アラーム番号などできるだけ詳しく)
 - (4) 訪問ご希望日

保証について

- この機器には保証書が付いています。
- 必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間について

- この製品の補修用性能部品 (機能維持のために必要な部品) の最低保有期間は製造打切り後7年です。ただし、最低保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は有料で修理いたします。

転居または機器を移設される場合

- ガスの種類が、異なる地域へ転居される場合は、調整改造の必要があります。お買い上げの販売店、または転居先のガス会社へご相談ください。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、排気筒トップからの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居、移設ともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

アフターサービス等についてわからないとき

- お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへお問い合わせください。

長期間使用しない場合

- 長時間使用しない場合は次の操作をしてください。
 - (1) ガス栓を閉じます。
 - (2) 給水元栓を閉じます。
 - (3) 機器の水抜きを行います。
(水抜き方法は、P. 24を参照してください)
 - (4) 電源プラグを抜きます。

長くお使いいただくために